

事務事業名	感染症対策事業	事務事業No.	10201000332	所属課	健康推進課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
感染症予防対策は、季節により流行する疾患が異なるため随時実施している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う感染症予防対策の徹底によりインフルエンザやノロウイルス等の発生は減少した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症については、流行が続いている。また、令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行されたことに伴い、マスクの着用などの感染対策も基本的に個人の判断に委ねられ、再び冬季にはインフルエンザの流行も見られる。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
新型コロナウイルス感染症が5類に移行後も受診医療機関や療養期間等の相談がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 政策「健康づくりの推進」に合致する。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民の安心安全の確保のため、国の感染症法に基づき実施しており統合性がある。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 施設における標準予防策の徹底及び衛生環境の向上、日頃から1人ひとりの感染症予防対策（手洗い、咳エチケット等）により、感染症拡大は減らすことができる。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 感染症法に基づく事業である。廃止・休止した場合は、感染症の発生やまん延が懸念される。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業は無い。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 平常時には、認定こども園や小中学校等の感染症予防対策（手洗い、咳エチケット）の指導が重要になる。感染症まん延時には、一時的な人員の確保が必要である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民を対象としているため、公平公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行し、法律に基づく濃厚接触者や感染者の外出制限がなくなり、冬季には、インフルエンザや感染性胃腸炎の同時流行もあった。また、県内の麻しんの発生や市内の水痘の学級閉鎖があり、注意喚起や予防接種の勧奨等、随時母子モアプリー等で感染予防対策の啓発を行った。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加				○			維持					低下			
成果	向上	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
	維持																									
	低下																									
国では、新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえ、令和6年7月に「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」を改定。それに伴い、茨城県でも令和7年3月に「茨城県新型インフルエンザ等対策行動計画」の改定を予定している。また、国は、令和6年12月に「市町村行動計画作成の手引き」を更新。令和8年7月までに計画変更を完了させることとしている。「桜川市新型インフルエンザ等対策行動計画」も、国・県の計画の考え方と整合性を持つよう改定する必要がある。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>